

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会（資料配付）
 2. 国土交通記者会（資料配布）
 3. 国土交通省建設専門紙記者会（資料配布）
- 日時：令和7年9月25日 14時同時配付



令和7年9月25日
国立研究開発法人土木研究所
株式会社高速道路総合技術研究所

舗装再生技術の更なる普及拡大に向けて研究体制を拡充！ ～（株）高速道路総合技術研究所が共同研究に加わります！～

アスファルト舗装の再生利用技術や低炭素型アスファルト舗装技術は、持続可能な循環型社会の形成に大きく貢献することが期待されます。

（国研）土木研究所、（公財）東京都道路整備保全公社（過年度までは東京都建設局）、（一社）日本アスファルト合材協会では、令和4年度から「社会構造の変化に対応したアスファルト混合物再生利用技術に関する共同研究」を実施し、研究開発を進めてきました。

環境問題への関心が高まる中で、このたび（株）高速道路総合技術研究所が共同研究に参画し、研究体制の一層の充実が図られることになりました。これによって、高速道路から地方道まで、多様な性格の道路に適用できる環境にやさしい舗装技術の研究開発の加速が期待されます。

1. 共同研究の概要と目的

「社会構造の変化に対応したアスファルト混合物再生利用技術に関する共同研究」では、重交通路線を対象としたアスファルト舗装（改質アスファルト混合物）の再生利用技術と、より広域に供給できる低炭素型アスファルト舗装（中温化アスファルト）技術に関する研究に取り組んでいます。

当共同研究は令和4年度から開始し、（国研）土木研究所、（公財）東京都道路整備保全公社（過年度までは東京都建設局）、（一社）日本アスファルト合材協会の3者で研究活動を行ってきました。

2. 共同研究体制の変更点と期待される効果

（株）高速道路総合技術研究所が共同研究者として新たに参画することとなりました。高速道路の舗装技術に関する豊富な知見を有する同社の参画によって、高速道路から地方道まで、多様な性格の道路に適用できる環境にやさしい舗装技術の研究開発の加速が期待されます。

問い合わせ先

国立研究開発法人土木研究所
道路技術研究グループ 上席研究員（舗装） 渡邊 一弘
電話番号 029-879-6788

株式会社高速道路総合技術研究所
道路研究部 舗装研究室 室長 江口 利幸
電話番号：042-791-1621